

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.225
2023.9.30

特集

第2回南山大学
「人間の尊厳賞」



NANZAN
UNIVERSITY



第2回南山大学「人間の尊厳賞」 湯浅 誠氏が受賞

南山大学の理念を実現する賞の創設

南山大学は2021年に迎えた創立75周年の記念事業の一つとして、南山大学「人間の尊厳賞」を創設しました。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえない存在として、本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」の実現にむけて多大な貢献をしている個人・組織から、毎年1名または1組織を表彰するものです。受賞者決定には、学内選考を経て、学長および学外有識者からなる選考委員会にて最終選考を行います。

第2回の受賞者を決定

選考の結果、第2回受賞者は、湯浅誠氏に決定しました。湯浅誠氏は社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすび理事長です。

湯浅氏は、これまで、社会の中に様々な形で存在する格差・貧困の問題を、その時々に取り得るアプローチを駆使して、その問題解決を図ろうとしてこられました。この問題を生み出した政治や政策を厳しく批判するだけでなく、実際に弱者に寄り添い、ホームレスの人たちの自立を促す活動や子ども食堂の取り組みを通じて貧困家庭の子どもたちを支援する活動も続けられています。すべての人には生きる意味と価値があることを懸



記念講演会を行う湯浅誠氏

念に示そうとする同氏の活動は、本学の目指す「人間の尊厳のために」という理念の実現に資するものといえます。

表彰式、記念講演会を举行

第2回表彰式・記念講演会は、2023年5月27日に、南山大学フラッテンホールにて開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策を緩和し、一般参加者の募集も行いました。来賓、学生、学内教職員、多くの一般参加者の方々が出席し、盛大に式を挙行了しました。YouTubeでの同時配信も行われ、広くご視聴いただきました。

表彰式では、学長式辞の後、キサラ学長より湯浅氏に表彰盾が授与されました。続いて、本賞の後援である南山大学同窓会 松岳大樹会長より湯浅氏に副賞賞金の目録が手渡されました。



司会を務めた外国語学部フランス学科3年 蟹江菜々美さん



表彰式の様子



キサラ学長から表彰盾を授与



松岳同窓会長から目録を授与



講演テーマは「個人の尊厳、社会の尊厳」

表彰式に続いて、湯浅氏にご講演いただきました。講演テーマは「個人の尊厳、社会の尊厳」。要旨を以下に記します。

講演要旨

本日この場で何をお話しようかなと考えた時に、これまでの活動で特に印象深かった7人の顔が浮かびました。

60年近く料理人として真面目に働いてきたのに、年金を受け取れることに気が付かず路上生活者となり、受け取れると分かった時には身体を壊して、あっという間に亡くなってしまった俊太郎じいちゃん。役所の人と話すことがうまくできず、生活保護を打ち切られて路上生活に逆戻りしてしまった甲斐さん。年越し派遣村で出会った、コミュニケーションが苦手で大声で喚ぶばかりで、当初は孤立していた方も印象的です。あと少し何か違えば、彼らの人生もきっと違うものになっただろうに…と考えると、今でも何とも言えない気持ちになります。

東京大学の博士課程まで進んだにも関わらず、ホームレス支援に明け暮れ、親戚中から腫れもの扱われていた私に、「最近は何をしているの?」と禁断の質問を投げつけたおばあちゃんも忘れられません。「ぼちぼちやっています」と答えながら、なんともいたまれない気持ちになって、ホームレスになった方の辛さに思いを馳せることになりました。

子ども食堂を運営している方に、お話を伺ったこともあります。「誰かの居場所をつくりたい」と活動を続ける中で、その思いがきちんと届いていたんだと実感した出来事があったと、嬉しそうに話してくれました。

私の兄の入院・手術をきっかけに弱り、要介護になってしまった母を、兄の入院先まで毎日送り迎えしてくれた恩人・Tさんの

存在も大きいです。母の友人なのですが、私が活動を続けてこられたのは、Tさんの「名もない支援」のおかげだと心から思っています。

そして最後、7人目が私の兄です。彼は筋力が弱ってしまうという難病で、小さい頃から車椅子に乗っていました。自分の体に引け目を感じていて、「見られたくない」という気持ちが強かったので、外を歩く時は人が来る度に「曲がってくれ」と言われていて…何も悪いことをしていないのに、コンソソと隠れるように歩くことが私は嫌で、ある時兄の言葉を無視して、ひどく怒らせたことがあります。「あの時どうするのが正解だったのか」が分からなくて、長い間考えていたのですが、今日皆さんにお話ししてきたような経験を通して、ぼんやりと答えが見えてきたような気がしています。本当の正解は、兄が障がいを持っていても堂々と歩いていけるような、そんな世の中にする事なんです。社会がそうやって変わっていかないと、個人の尊厳を守ることができない—社会の尊厳を作るということが、我々個人の尊厳を守ることに繋がっていて、そんな世の中を作っていくことが大切なんじゃないかと、私は思います。ありがとうございました。

質疑応答

湯浅氏の講演を受けて、出席者から多くの挙手がありました。

男性からは「大学院で論文を提出せずに、今のような道に進まれたのはなぜですか。」と質問があり、湯浅氏は「路上での活動が忙しくなり、研究をしなくなりました。明日の予定を考えたとき、論文は自分だけで書くものですが、路上の活動は誰かが待っていてくれる。活動をして相手との関係が深まっていくにつれて、論文は書けなくなりました。」と回答しました。また、本学の卒業生という男性からは「ホームレス支援やボランティアを始めた最初のきっかけはなんですか。」と質問があり、湯浅氏は「一番最初のきっかけは、高校の一歳上の友人がホームレス支援をしていたことです。ボランティアは、大学に入学した年に、児童養護施設で学習ボランティアを始めたことからです。兄が障がい者だったので、幼い頃から家に学生ボランティアに来てもらっていました。私もたくさん相手してもらったので、ボランティアの活動はごく自然に当たり前のことでした。幼い頃に、地域の人に見てもらった、関わってもらったという経験を体験として持つと、誰かの役に立ちたいと思える人になるのではないかと思います。」と回答しました。

取材後記

式典当日、湯浅さんはスマートなスーツ姿に白いスニーカーを合わせていらっしゃいました。#KuToo運動をきっかけにスニーカーにしたとのこと。(#KuToo(クートゥー)は、日本の職場にて女性のパンプス、ハイヒールの着用が苦痛であるということから起きた運動。「苦痛」と「靴」をかけている。)女性の環境改善のために起きた社会運動に、男性である湯浅さんが同調し、スニーカー着用を実践している姿に、このような細かいところからも分け隔てなくすべての人々に寄り添う姿勢を見た気がしました。

式典後の懇親会では、名古屋名物ひつまぶしをご堪能いただき、大学関係者との交流を深めました。

終始朗らかな笑顔と軽快な姿勢で周囲の人々の緊張を解いてくださり、厳かなながらも笑顔の溢れる1日になりました。

当日の様様はこちらからご視聴いただけます→



第64回

上南戦

上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)が、今年で64回目を迎えました。

上南戦とはカトリック修道会を設立母体とする上智大学と南山大学のスポーツ対抗戦で、毎年両校体育会団体が数十種目の競技を行い総合成績で勝ったほうが優勝となります。一年毎に会場を東京と名古屋で交互に開催し、1960年の第1回大会より、半世紀以上続く伝統の一戦です。

昨年はコロナ禍でありましたが、3年ぶりに上南戦を開催することができ、今年は4年ぶりのアウェイでの開催となりました。

今年のスローガンは「Advance」。4年ぶりに上智大学で開催される上南戦で、勝利する勢いで戦いに挑もう!という想いがスローガンに込められています。

上南戦 学生の声

第64回上南戦実行委員長を務めました森園賀です。4年ぶりの上智大学開催で34年ぶりとなる両校総合優勝という素晴らしい結果を残すことができました。連敗を止めることができ上南戦実行委員会一同とても嬉しく思います。南山大学は6連敗から始まったのにも関わらず、怒涛の追い上げによって、最後の弓道男子までどちらが優勝するかわからない白熱した戦いでした。どの会場も活気に満ち溢れ、正々堂々と戦う選手の方々の姿はとてもしっかりよかったです。また、アウェイにも関わらず多くの南山関係者の方が上智大学まで足を運んでくださり、愛されている大会であると再認識しました。私自身、2年間上南戦の運営を経験して、多くの人と関わって、1つの行事を作り上げることの難しさと各団体や各チームと連携し、コミュニケーションを取る重要性を学びました。私にとってかけがえのない貴重な経験となりました。来年こそはホームの南山大学で単独総合優勝を掴み取ることを期待しております。



第64回上南戦実行委員長
所属 基礎スキー部

森 園 賀

(総合政策学部
総合政策学科3年)



南山大学 上智大学

総合成績 16勝16敗

第1回大会からの通算成績
南山17勝 上智39勝 引分6

戦績

総合成績は南山大学16勝、上智大学16勝で、34年ぶりとなる両校総合優勝でした。参加した選手たちをはじめ、応援団、教職員など関係者が一つとなり、各会場は大いに盛り上がりを見せました。来年こそは単独総合優勝を目指しましょう!

水泳	南山 183	-	269	上智
ゴルフ	南山	-	*	上智
ハンドボール(男子)	南山 22	-	39	上智
硬式庭球(男子)	南山 0	-	9	上智
バレーボール(女子)	南山 0	-	3	上智
弓道(女子)	南山 3/2	-	3/0	上智
陸上競技	南山 121	-	115	上智
ラクロス(女子)	南山 9	-	6	上智
軟式庭球(男子)	南山 5	-	4	上智
軟式庭球(女子)	南山 3	-	0	上智
洋弓(男子)	南山 3016	-	3233	上智

* 覚書による両校代表者協議により上智大学の勝利

洋弓(女子)	南山 2723	-	3161	上智
柔道	南山 1	-	1	上智
アイスホッケー(男子)	南山 1	-	8	上智
ラクロス(男子)	南山 5	-	4	上智
硬式野球(男子)	南山 8	-	3	上智
剣道(男子)	南山 2	-	4	上智
剣道(女子)	南山 2	-	2	上智
バレーボール(男子)	南山 2	-	3	上智
卓球(男子)	南山 1	-	4	上智
卓球(女子)	南山 3	-	2	上智
ラグビー(男子)	南山 0	-	69	上智

バドミントン(男子)	南山 4	-	1	上智
バドミントン(女子)	南山 3	-	2	上智
バスケットボール(女子)	南山 56	-	64	上智
フェンシング(女子)	南山	-	*	上智
硬式庭球(女子)	南山 3	-	2	上智
準硬式野球(男子)	南山 17	-	2	上智
アメリカンフットボール(男子)	南山	-	*	上智
サッカー(男子)	南山 4	-	2	上智
弓道(男子)	南山 76	-	98	上智
少林寺拳法	南山	-	オープン競技	上智
バスケットボール(男子)	南山 81	-	54	上智

2023. 6.14

「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式

6月14日、2023年度「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式を行いました。
「南山チャレンジプロジェクト」は、学生による学内を活性化させる企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。



授与式の様子

2023年度南山チャレンジプロジェクト採択団体



②南山大学を活性化させる活動



①上智大学と南山大学の交流を促進する企画



②南山大学を活性化させる活動



②南山大学を活性化させる活動

Activate NRL

本団体は、書籍に関する様々なイベントを企画・実施することで、学生がより書籍に親しむとともに、書籍を通じた発見や視野の拡大を体験する機会を創出します。また、学生がこれらのイベントに参加することで、様々な情報ツールの発展に伴い、軽視されがちな「本」の魅力・有用性を再発見することを目標とします。

JohananMeets

南山大学「Nanzan AID」と上智大学「nexnect」が姉妹校である南山大学と上智大学の交流を増やし、学生生活におけるお互いの学生の交流の幅を広げることを目標としたイベント「Johanan Meets」を実施します。新感染症による交流制限があった学生の活動が盛り上がるような機会を提供します。

Nanzan チャリティコンサート有志団体

私たちは、世界の平和を願うチャリティコンサートを行います。コンサートは教会をお借りし、歌だけでなく、お客様と共に平和について考えお祈りをする時間を設けます。また、誰でも参加いただける、ウクライナの現状を知る為の講演会を開催します。さらに、ライネルス中央図書館のご協力の下、学内コンサートも行います。

SDGs Foodloss Nanzan University Group

本グループは、南山大学でフードドライブ(学生から余った食品を募り、それを必要とする施設や団体に寄付する)や、学生に対しフードロスに関するチラシを配る、フードロス削減に取り組む企業様のキッチンカーを呼び込むといった活動を通し、学生にフードロスに対する関心を深く持ってもらうことを目標とします。

※申請テーマ:①上智大学と南山大学の交流を促進する企画 ②南山大学を活性化させる活動 ③学びを深める活動 ④地域交流活動 ⑤国際交流活動

2023.7.13

南山ゆかたフェス

7月13日、南山ゆかたフェスを開催しました。浴衣を着ることで、日本文化に親しみ、学生・教職員同士の交流を図ることを目的としています。雨模様でしたが、無事に開催することができ、当日は多くの学生・教職員が参加しました。

7月15日には、松坂屋とゆかたフェス実行委員会がコラボレーションし、ファッションショーを実施しました。日本文化を楽しみたいという想いで、学生が企画し、より身近に、より気軽にアレンジできるように様々なシーンに合わせたアレンジで浴衣を着こなしていました。また、今年度はジャズ研究部N.A.Q.による演奏でより盛り上がりました。



▲ゆかたフェス実行委員のみなさん



▲販わうラムネ販売コーナー



▲ファッションショーにモデルとして参加した学生

2023.7.15-2023.7.16

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、7月15日、16日にキャンパスへ来場する大学開催型と、8月1日に自宅から参加するオンライン開催型を開催しました。

6月20日から特設ページを開設し、入試概要、留学制度、就職・キャリアサポート、各学部紹介など動画による大学紹介を行いました。

7月15日、16日は、各学科の教員による模擬授業や学科説明会、入試、奨学金、留学、就職などについての個別相談をはじめ、学科・学生企画やキャンパスツアーを実施しました。

どの企画も盛況で、2日間で約8,000名の方にご参加いただきました。



▲オープンキャンパスの様子

2023.7.31-2023.8.4

夏休み水泳教室

7月31日から8月4日までの5日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。

この教室は、小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教える毎年人気の教室です。今年度は昨年よりも募集定員を増加し、今年度の受講者は85名と、大盛況でした。6種類のコースから希望コースを選択して泳力別に分けられたグループごとに練習を行い、たくさんの受講者の方に水泳を楽しんでいただきました。



人文学部の福本拓准教授が、著書『大阪のエスニック・バイタリティ -近現代・在日朝鮮人の社会地理-』で経済地理学会の「著作賞」を受賞しました

人文学部の福本拓准教授の著書が、第11回経済地理学会「著作賞」を受賞しました。

この賞は、経済地理学研究の一層の発展を推進するとともに、若手研究者の研究奨励に資するため、優れた研究成果を顕彰することを目的として設けられたものです。受賞著作は、大阪における在日朝鮮人集住地区の形成史について、丹念な実

証研究によって解明し、経済地理学の発展に大いに寄与する著作であると評価されました。

■選定著書 著者：福本拓
『大阪のエスニック・バイタリティ-近現代・在日朝鮮人の社会地理-』京都大学学術出版会



▲賞状とトロフィー

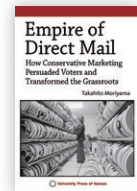
外国語学部の森山貴仁准教授が、著書『Empire of Direct Mail: How Conservative Marketing Persuaded Voters and Transformed the Grassroots』でアメリカ学会の「清水博賞」を受賞しました

外国語学部の森山貴仁准教授の著書が、第28回清水賞候補として審査の結果「清水博賞」を受賞しました。

アメリカ学会では、1996年度から「アメリカ学会 清水博賞」を設けています。この賞は、若手研究者が最初に発表した研究成

果の中から、特に優れた作品に授与されます。

■受賞著書 著者：森山貴仁
『Empire of Direct Mail: How Conservative Marketing Persuaded Voters and Transformed the Grassroots』University Press of Kansas



▲森山貴仁准教授

本学講師(非常勤) 浅香幸枝先生が、日本カトリック大学・短期大学連盟の「カトリック学術奨励金」研究奨励賞を受賞

南山大学講師(非常勤) 浅香幸枝先生が、2023年度カトリック学術奨励金「研究奨励賞」を受賞しました。

この賞は、キリスト教ヒューマニズムに根ざす学術研究を奨

励し、同研究の向上発展に資することを目的として、これらの研究に優れた成果を収めた研究者を表彰するものです。



▲浅香幸枝先生

本学学生と体育教育センターの飯田祥明准教授が、ネットボールアジアユース大会日本代表メンバーに選出

6月10～17日に韓国全州市にてネットボールアジアユース大会が開催されました。21歳以下の日本代表「ヤングつばき JAPAN」に、総合政策学部総合政策学科3年蔵芽生さん、外国語学部英米学科2年井野靖子さん、外国語学部アジア学科2年市川紗椰さんが選手として、体育教育センターの飯田祥明准教授がコーチとして選出されました。

ネットボールはイギリス発祥のバスケットボールとルーツを共

にするスポーツで、ボールをパスのみでつなぎ、敵のゴールヘシュートして得点を競います。日本ではあまり知られていないものの、オーストラリア、ニュージーランド、イギリスなどでは非常に人気がある種目で、全世界の競技人口は2000万人ほどと言われています。本学は、国内大学では珍しくネットボールの授業を行っています。

アジアユース日本代表▶
「ヤングつばき JAPAN」のメンバー



閉会式▶

南山大学を舞台にした青春オリジナルドラマ「Link!」を制作

このドラマは、南山大学に通う主人公が、大学受験に動かしむ高校生の“過去の自分”と、ある日突然会話ができるようになるという、時空を超えた青春ストーリーです。

7月1日、本学で撮影が行われエキストラとして学生も参加しました。

特別映像公開中▶



▲主演のお2人(左:鎮西寿々歌さん 右:ゆうたろうさん)



▲出演者と学生の集合写真



▲撮影の様子

ミラーの贈呈式

株式会社名古屋銀行取扱いの私募債制度「SDGs・寄贈型私募債『未来への絆』」を利用して、株式会社エーアンドエー様より、多文化交流ラウンジStellaで使用するミラーを寄贈いただきました。5月23日(火)に贈呈式が行われ、本学からは山岸グローバル化推進担当副学長、大澤国際セン

ター事務室長らが代表して出席しました。今回寄贈いただきましたミラーは授業やイベント等に活用していきます。

左:株式会社エーアンドエー代表取締役 澤野様
右:山岸グローバル化推進担当副学長
後方:寄贈していただいたミラー



Special Events Schedule

2023.10.7

野外宗教劇「受難」

10月7日(土)18時からパッパ・スクエアで第57回野外宗教劇「受難」を公演します。

野外宗教劇「受難」はカトリック大学である本学を代表する伝統行事であり、イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴダの丘における十字架上の死を経た復活まで、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わるすべてのことを学生たち自身が行います。



▲昨年の「受難」の様子

2023.11.3-2023.11.5

大学祭「南山祭」

11月3日(金)から11月5日(日)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「翔(かける)」。このテーマには、「大学祭に参加するすべての人が大学祭でしか経験できないことを目一杯経験し、それを自分たちの未来へと羽ばたききっかけにしてほしい」という思いが込められています。

課外活動団体によるステージ企画や模擬店、ゼミによる活動内容の展示・発表などさまざまな企画をご用意しております。



▲昨年の南山祭の様子

2023.10.28

受験生と保護者のための入試説明会

10月28日(土)「受験生と保護者のための入試説明会」を開催します。これは本学の一般選抜の受験予定者を対象としたイベントで、入試説明や個別相談、河合塾による入試対策講座、外部講師による受験生と関わる親の心構え講座などを実施予定です。一部企画はオンラインでも配信します。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。



キャリア支援課プログラム紹介

全学年を対象に テーマ別ワークショップを実施します!

10月の月曜日と木曜日の5限に、9つのテーマにてワークショップを開催します。自己分析や業界理解を深めることや、各業界で活躍されている企業の方のお話を聞くことができる機会です。希望進路の実現に向け、「今」何をすべきか学び、視野を広げてみましょう。気になるテーマがあったら是非お気軽に参加してください。

〈実施予定のプログラム〉

10月2日(月)	5限	性格・適性診断テスト活用! 自分を掘り下げてみよう
10月5日(木)	5限	見つけよう。私も知らない「わたし」
10月9日(月)	5限	エアライン対策セミナー
10月12日(木)	5限	異業種5社セミナー
10月16日(月)	5限	物流業界理解セミナー
10月19日(木)	5限	マスコミ(放送)対策セミナー
10月23日(月)	5限	金融・損保業界セミナー
10月26日(木)	5限	IT業界理解セミナー
10月30日(月)	5限	商社業界理解セミナー

※申込方法等の詳細は、今後PORTAにて公開予定です。
※各種イベントは実施後に1週間程度YouTubeにてオンデマンド配信いたします。(録画可能なイベントのみ対象)詳細はPORTAからご確認ください。

第3クォーター以降のキャリア支援課プログラム紹介

就職支援プログラム(2025年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	先輩の体験談、秋学期のスケジュールの確認など
10月~11月	業界・職種研究会【公務機関】	国・地方など各機関の担当の方から業務内容や仕事のやりがい等についてお話を伺います。
10月~11月	就職対策講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」 「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
11月~1月	筆記試験対策	SPI3テストセンター対策模試、玉手箱対策模試
11月~12月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性などについてお話を伺います。
11月~12月	面接対策	面接準備ワークショップ
12月	グループ選考・エントリーシート対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座、添削道場
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
2月	学内企業説明会 【2022年度実績:文系・理系182社】	南山大生を対象とした企業説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンスを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

2023年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、第5表が示す通り、2022年度決算では学生生徒等納付金比率79.2%、補助金比率8.2%となっており、学生生徒納付金と補助金が収入の大部分を占めています。この収入構造は2023年度予算においても同様です。2023年度も引き続き、学生数確保、および補助金・寄付金などの外部資金獲得を目指します。

2022年度は、カトリック大学としてのルーツが反映されたヤンセン国際寮の開寮と、第1回南山大学「人間の尊厳賞」の授賞が行われました。これによ

て、本学のアイデンティティである国際性と教育モットーである「人間の尊厳のために」を促進するための大きな一歩を踏み出すことができました。また、大学の教育モットーを体現すべく、創立75周年を記念して2022年度に改修されたライネルス中央図書館は、2023年4月に開館しました。

なお、この創立75周年を記念したライネルス中央図書館構想に対する支援を目的とした、「創立75周年記念募金」を引き続き実施しております。加えて、2022年度より南山大学大学院博士後期課程への進学を考えている方々への一助となるよう、授業料、施設設備費の半額を減免する「大学院博士後期課程奨学支援制度」を創設し、この奨学支援制度をより充実したものとするため、「南山大学大学院博士後期課程奨学支援募金」の募集を開始しております。

近年本学が取り組んでいる「大学の世界展開力強化事業」につきましては、2018年度から実施してきた「大学の世界展開力強化事業」～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～が2022年度に終了しました。2023年度は、本プログラムの成果について振り返り、今後の継続に向けて体制を整え、プログラムを自走化できるように努めます。この事業を通じて構築したNU-COILは、教育効果ばかりでなく入試広報としても効果が高く、教職員のSDとしても活用できることから、各学部・研究科はNU-COILオフィスと協力して、さらなるCOIL型授業の増加を検討していきます。

なお、掲載しております財務諸表につきまして、2023年度予算が3月に決定されている関係で、前年度繰越収支差額および前年度繰越支払資金が2022年度決算からの繰越額と一致していないことを申し添えさせていただきます。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、引き続き財務改善に努める所存です。どうかご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

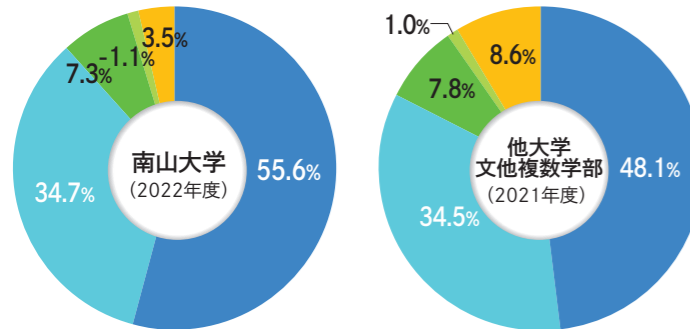
(大学本部長 児玉 和典)

第5表 財務比率
事業活動収支計算書関連

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2020年度	2021年度	2022年度	2021年度	
人件費比率	人件費/経常収入	54.7%	53.8%	55.7%	48.4%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	71.5%	69.8%	70.4%	59.4%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	34.8%	31.9%	34.8%	34.8%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	5.3%	5.9%	7.3%	7.9%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.5%	0.5%	0.4%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	76.5%	77.1%	79.2%	81.6%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	11.3%	11.2%	8.2%	10.7%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	9.5%	9.2%	6.6%	7.9%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	12.1%	12.6%	11.4%	11.9%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学	他大学文他複数学部
	2022年度	2021年度
人件費	55.6%	48.1%
教育研究経費	34.7%	34.5%
管理経費	7.3%	7.8%
その他の事業活動支出額	-1.1%	1.0%
基本金組入額+当年度収支差額	3.5%	8.6%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2021年度	2022年度	2021年度	
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	83.2%	84.0%	88.3%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	7.6%	7.1%	△16.4%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	857.0%	864.7%	263.9%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	46.5%	48.5%	121.1%	～
総負債比率	総負債/総資産	16.8%	16.0%	11.7%	↓
負債比率	総負債/純資産	20.2%	19.1%	13.3%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団令和4年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2 分子・分母とも図書を除く

第6表 2023年度 資金収支予算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

収入の部		予算額
科目		予算額
学生生徒等納付金収入		10,314,406
手数料収入		708,670
寄付金収入		287,554
補助金収入		1,348,941
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		253,930
受取利息・配当金収入		103,880
雑収入		211,443
借入金等収入		0
前受金収入		2,159,040
その他の収入		2,310,577
資金収入調整勘定		△ 2,337,491
当期収入合計		15,360,950
前年度繰越支払資金		33,506,302
収入の部合計		48,867,252
支出の部		予算額
科目		予算額
人件費支出 (退職金支出)		6,959,727 (288,335)
教育研究経費支出		3,156,531
管理経費支出		782,472
借入金等返済支出		49,086
借入金等返済支出		482,750
施設関係支出		276,092
設備関係支出		366,722
資産運用支出		500,006
その他の支出		2,561,025
予備費		26,494
資金支出調整勘定		△ 505,039
法人本部費配賦額		534,821
当期支出合計		15,190,687
翌年度繰越支払資金		33,676,565
支出の部合計		48,867,252

第7表 2023年度 活動区分資金収支予算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,314,406
	手数料収入	708,670
	特別寄付金収入	287,254
	一般寄付金収入	300
	経常費等補助金収入	1,348,941
	付随事業収入	253,930
	雑収入	211,443
	教育活動資金収入計	13,124,944
	人件費支出	6,959,727
	教育研究経費支出	3,156,531
管理経費支出	782,472	
教育活動資金支出計	10,898,730	
差引	2,226,214	
調整勘定等	21,697	
教育活動資金収支差額	2,247,911	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
	その他の引当特定資産取崩収入	0
	施設整備等活動資金収入計	0
	施設関係支出	276,092
	設備関係支出	366,722
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	その他の引当特定資産繰入支出	500,000
	施設整備等活動資金支出計	1,142,814
	差引	△ 1,142,814
調整勘定等	96,146	
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,046,668	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,201,243	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	9,409
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	2,098,068
	貯蔵品売却収入	0
	その他の収入	2,850
	小計	2,110,577
	受取利息・配当金収入	103,880
	過年度修正収入	0
	その他の活動資金収入計	2,214,457
借入金等返済支出	482,750	
長期貸付金支払支出	50,500	
短期貸付金支払支出	1,750	
預り金支払支出	2,098,980	
その他の支出	1,056	
小計	2,635,036	
借入金等利息支出	49,086	
その他の活動資金支出計	2,684,122	
差引	△ 469,665	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 469,665	
予備費	26,494	
法人本部費配賦額	534,821	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	170,263	
前年度繰越支払資金	33,506,302	
翌年度繰越支払資金	33,676,565	

第8表 2023年度 事業活動収支予算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科目		予算額
教育活動収支	学生生徒等納付金	10,314,406
	手数料	708,670
	寄付金	291,054
	経常費等補助金	1,348,941
	付随事業収入	253,930
	雑収入	211,456
	教育活動収入計	13,128,457
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	6,906,162 (234,770)
	教育研究経費 (減価償却額)	4,350,663 (1,190,632)
	管理経費 (減価償却額)	986,553 (204,081)
徴収不能額等	0	
教育活動支出計	12,243,378	
教育活動収支差額	885,079	
教育活動外収支	事業活動収入	103,880
	受取利息・配当金	103,880
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	103,880
	事業活動支出	49,086
	借入金等利息	49,086
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	49,086
	教育活動外収支差額	54,794
	経常収支差額	939,873
特別収支	資産売却差額	0
	その他の特別収入 (現物寄付) (施設設備補助金) (過年度修正額)	15,000 (15,000) (0) (0)
	特別収入計	15,000
	資産処分差額	10,001
	その他の特別支出	0
	特別支出計	10,001
	特別収支差額	4,999
	予備費	26,494
	法人本部費配賦額	516,066
	基本金組入前当年度収支差額	402,312
基本金組入額合計	△ 827,349	
当年度収支差額	△ 425,037	
前年度繰越収支差額	4,698,653	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	4,273,616	
(参考)		
事業活動収入計	13,247,337	
事業活動支出計 ^(※)	12,845,025	
経常収入	13,232,337	
経常支出	12,292,464	

(※) 法人本部費配賦額を含む。

友の会評議員会・総会

2023年7月19日(水)、ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会を開催しました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月1日現在の会員数は一般会員156名、法人会員118法人となっています。

総会では、(1)2022年度事業報告および決算報告、(2)役員の変更(案)、(3)2023年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参

加させていただきます、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。

また、その後行われた懇親会の席において、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。
[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ
<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/>

後援会定例評議員会

2023年6月24日(土)、フラッテンホールで、南山大学後援会定例評議員会を開催しました。南山大学後援会は在学生の保護者によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から134名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2022年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2023年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認



され、2023年度は9月30日(土)に第51回「保護者の集い」を大学と共催することが決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される佐野真哉様に、キサラ学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には柴田哲士様が就任されました。



後援会Webページ
<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2022年度決算	2023年度予算
収入の部		
前期繰越金	4,326,615	3,188,297
入会金	2,335,000	2,334,000
会費	173,987,500	182,000,000
合計	180,649,115	187,522,297
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	165,000,000	165,000,000
留学生支援活動援助費	(59,800,000)	(63,000,000)
教育研究図書援助費	(61,700,000)	(60,000,000)
履修関係費	(4,500,000)	(6,000,000)
広報活動援助費	(7,000,000)	(5,000,000)
課外活動援助費	(28,000,000)	(27,000,000)
就職指導活動費	(4,000,000)	(4,000,000)
後援会活動費	8,460,818	10,600,000
保護者の集い	(1,302,796)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,718,589)	(6,000,000)
事務費	(239,433)	(1,400,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	3,188,297	7,522,297
合計	180,649,115	187,522,297

後援会貸借対照表

2023年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	88,096,964	課外活動援助基金	43,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	3,188,297
合計	88,096,964	合計	88,096,964

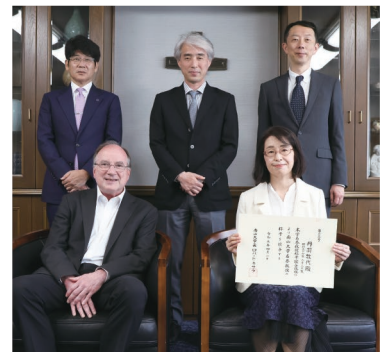
《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	39,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	43,724,604	合計	41,184,063

名誉教授称号授与

外国語教育センター丹羽牧代教授に対しその功績を称え、2023年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。



▲前列右:丹羽牧代 教授

新任教員紹介

2023年6月1日付
●国際センター
特別任用講師 佐藤 幸代
(専攻分野:職業教育論、高等教育論)

2023年9月1日付
●経営学部
教授 伊藤 彰敏
(専攻分野:コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス)

●法学部
教授 岩本 学
(専攻分野:国際私法、国際民事訴訟法)

●外国人留学生別科
語学講師(別科L.I.) 近藤 純子
(専攻分野:日本語教育)

退職

2023年6月30日付
●外国人留学生別科
語学講師(別科L.I.) 井手 友里子

2023年8月31日付
●外国人留学生別科
語学講師(別科L.I.) 土居 美有紀

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

後藤 悟様
松本 恭 様

株式会社極東精機
代表取締役 北野 毅 様

株式会社エーアンドエー
代表取締役 澤野 一郎 様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

松本 恭 様
山崎 雅彦 様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

笹山 達成 様 青木 清 様 加藤 紀子 様 松本 恭 様
土屋 玲 様 右田 和暉 様 中矢 俊博 様 匿名ご希望者 3名様

本学では、学生の活動などをWebページ「南山TODAY」、Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

南山TODAY



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp <https://www.nanzan-u.ac.jp/>